

環境あきた

県民フォーラム通信

発行/環境あきた県民フォーラム事務局
 〒010-8570 秋田市山王4-1-1
 秋田県環境政策課内
 TEL018-860-1602 FAX018-860-3881
 envplan@pref.akita.jp

2002年
 秋号



C O N T E N T S

あきたエコ&リサイクル フェスティバルご案内2,3	クリーンエネルギー 風力発電6
ホームページ紹介4	会員活動紹介7
環境法5	お知らせ8

環境あきた県民フォーラム ホームページ

<http://www.pref.akita.jp/kankyoho/forum/sitetop1/index.htm>

環境あきた県民フォーラムホームページがリニューアルいたしました。
情報発信・交流の場としてご活用下さい



<http://www.pref.akita.jp/kankyoho/forum/sitetop1/index.htm>

現在フォーラム会員のリンク集を制作中。
事務局までホームページURLをお知らせ下さい

会員のリンク集制作にご協力下さい。下記用紙を切り取って事務局までFAX(018-860-3881)いただくか
ホームページより、eメールにてご送信下さい

環境あきた県民フォーラム ホームページリンク申込

名称

御担当者様氏名

ホームページURL

eメールアドレス

お電話番号

ホームページPR(50文字程度)

環境法解説

温暖化対策関連法

地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律の要点

前回（夏号）のフォーラム通信では、地球温暖化対策の推進に関する法律が改正されたことを紹介しましたが、今回は改正の内容と温室効果ガスの排出量を抑制するための施策の概要と住民参加による取組事例を簡単に紹介します。

（１）京都議定書目標達成計画

達成計画政府は、京都議定書に係る目標の達成に関する計画を定めるとともに、平成16年及び平成19年において、京都議定書目標達成計画に定められた目標及び施策について検討を加え、必要に応じ変更する。計画の案は地球温暖化対策推進本部（内閣）において作成し、さらに閣議決定をする。

【計画の主な内容】

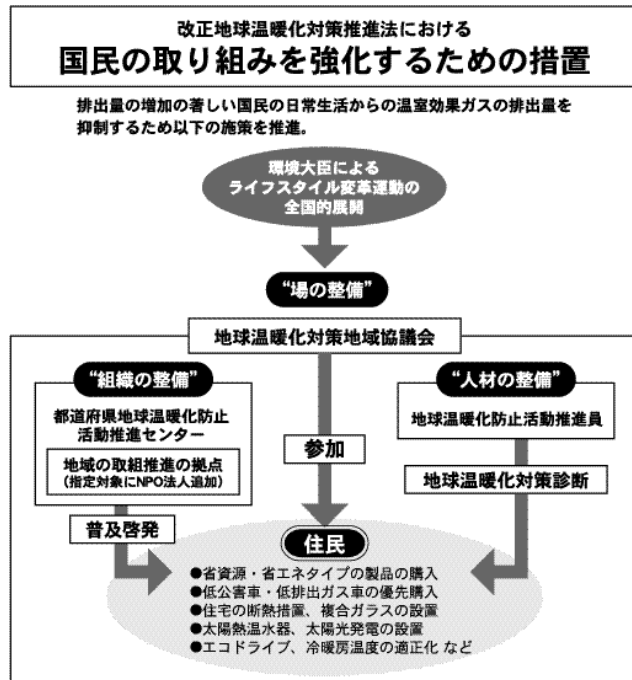
計画は、3月19日に政府の地球温暖化対策推進本部において決定された新たな地球温暖化対策推進大綱を基礎として作成することとし、京都議定書の6%削減約束の達成に向けた具体的裏付けのある対策の全体像を示す。このため、温室効果ガス別に目標並びに対策及びその実施スケジュールを記述することとし、併せて個々の対策についての我が国全体における導入目標量、排出削減見込み量及び対策を推進するための施策を盛り込む。計画は、節目節目に評価の上、見直すこととし、計画の中で定量的評価・見直しの方法の概略を定めることとする。計画は、国、地方公共団体、事業者及び国民一般が総力を挙げて実施する。

（２）温室効果ガスの排出の抑制等のための施策

地方公共団体は、京都議定書目標達成計画を勘案して施策を総合的・計画的に実施。国民の取組を強化するための措置を拡充。地球温暖化防止活動推進員の活動に、住民の求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導・助言を行う「地球温暖化対策診断」を追加。地域における普及啓発活動の拠点である「都道府県地球温暖化防止活動推進センター」について、その指定対象に、特定非営利活動法人（NPO法人）を追加。地域レベルでの温暖化対策の取組を推進するため地方公共団体事業者住民等からなる「地球温暖化対策地域協議会」を設置。

（３）森林整備等による温室効果ガスの吸収源対策

森林・林業基本計画等に基づき、森林整備等による吸収源対策を推進。



住民参加による取組み事例

省資源・省エネタイプの製品の購入、エコライフの実践

- ・白熱灯から電球型蛍光灯ランプへ、通常の照明器具からHfインバータ方式の照明器具に変換する。
- ・省エネ効率の高いテレビ、冷蔵庫、エアコンなどの家電製品を購入する。
- ・既存のシャワーヘッドを節水シャワーヘッドに取り替えて、水道使用量を削減する。
- ・エコタップを取り付けてテレビ、エアコン、電子レンジなどの電源をコンセントを抜かずにOFFにする。

- ・再生材料を多く使っている紙製品、文具・事務用品、事務服・作業服などを購入する。
- ・待機時の消費電力の少ないパソコンやOA機器を購入する。

低公害車・低排出ガスの優先購入

- ・ハイブリッド自動車や排出ガス低減レベルの基準をクリアした低排出ガス車など、低燃費や排出ガス中の有害物質の少ない自動車を購入する。

住宅の断熱措置、複合ガラスの設置

- ・窓からの熱の出入りを減らすため、カーテンやブラインドを設置したり、ガラスの表面にフィルムを貼り付ける。
- ・既存のサッシのガラスの復層ガラス化や建物の内側にサッシを追加して二重窓に変更する。

太陽熱温水器、太陽光発電の設置

- ・屋根の上などに太陽温水器を設置し、お風呂や給湯に使用する。
- ・太陽の光エネルギーを直接電気に変換する太陽光発電器を設置して家庭で使用する電力を賅う。

エコドライブ、冷暖房温度の適正化

- ・自動車を運転する場合は、アイドリングストップ、トランクに不必要な荷物を積まない、空ぶかしをしないなど、燃費の良い走りを中心掛ける。
- ・室内の冷房温度は28℃に、暖房温度は20℃に設定するよう心掛ける。

風力発電

クリーンエネルギー

地球温暖化と風力発電

昨今地球温暖化への対策として日本でも風力発電が注目されています。風力発電が盛んなヨーロッパでは、代替エネルギー源として、原子力発電よりも安心して安全な、自然エネルギーが選ばれています。取扱い困難な燃料や危険な廃棄物が発生しない自然エネルギー。特にドイツ、スペインやデンマークなどでは風力発電が大きく拡大し、2001年には世界全体の風力発電は前年より650万kW、32%も成長し、2400万kWを超えるなど記録的な年になりました。

風力は無人の天然資源

日本でも近年ようやく風力発電が途につき、2001年には30万kWに達しました。特に東北・北海道は日本の中でも風の強い地域であり、風力発電のという天然資源の宝庫です。ある調査によると、冬に強風が吹く秋田県は全国で北海道に次いで風力発電に適しているとされ、近年になって風力発電の事業数が増加しています。事業性が高いものをあげると、能代市（東北自然エネルギー開発株式会社）秋田市（株式会社秋田ウィンドパワー研究所）仁賀保町（仁賀保高原風力発電株式会社）があり、その他にも八森町、岩城町などで単体ですが風力発電が実施されています。



事業主体 東北自然エネルギー開発株式会社 **能代**
所在地 能代市浅内
(TEL022-722-7226)
運転開始 平成13年11月
設備概要 出力:14,400kW
(600kW×24基)
メーカー: エネルコン社
(ドイツ)
年間平均風速 約5.6m/s(30m高)
設備利用率 約27%
年間発電電力量 約3,400万kWh
(一般家庭約9,500世帯分)

事業主体 (株)秋田ウィンドパワー研究室
所在地 秋田市新屋(TEL.018-863-5677)
運転開始 平成10年3月、平成12年9月
設備概要 出力:6,800kW(400kW×2基、750kW×8基)
メーカー: エヌイージー・ミーコン社(デンマーク)
年間平均風速 約6.8m/s(30m高) 設備利用率 約24%
年間発電電力量 約1,400万kWh(一般家庭約3,900世帯分)

秋田



事業主体 仁賀保高原風力発電(株) **仁賀保**
所在地 仁賀保町仁賀保高原(TEL.0184-37-2670)
運転開始 平成13年12月
設備概要 出力:24,750kW(1,650kW×15基)
メーカー: ベスタス社(デンマーク)
年間平均風速 約6.4m/s(30m高)
設備利用率 約23.5%
年間発電電力量 約5,100万kWh(一般家庭約14,200世帯分)

仁賀保

事業主体 住友金属鉱山(株) 岩谷産業(株) **八森**
所在地 八森町八森(TEL.03-3436-7977)
運転開始 平成11年3月
設備概要 出力:490kW
メーカー: デウインド社(ドイツ)
年間平均風速 約5.0m/s(30m高)
設備利用率 約21%
年間発電電力量 約90万kWh(一般家庭約250世帯分)



参考資料: 風力発電の導入を目指して

市民の手による 風力発電

1999年9月、北海道の最北稚内市から車で約1時間半ほど東に下った浜頓別町に、出力1000kWの風車がまわり始めました。地元の小学生により「はまかぜ」ちゃんと名づけられたその風車は、NPOやその会員、一般市民からの「市民出資」により建設されたため、「市民風車」と呼ばれています。風車を建設したのはNPO法人北海道グリーンファンドです。グリーンファンドの特徴は、地球温暖化の一因となっている市民が、クリーンなエネルギーの生産過程に参加することにあります。市民がエネルギー生産者となることで、エネルギー消費者としての意識の変革を目指しています。北海道浜頓別町の風車建設では、会員や一般市民に呼びかけた結果、217名(団体含む)から1億4150万円の出資が集まりました。そして事業化のため会社をつくり、足りないところは金融機関からの融資を受けて、企業でも行政でもない市民による風力発電所ができました。

秋田でも市民風車が動き出す

このような北海道グリーンファンドの取り組みは、市民風車を取り入れたいと言う全国の市民団体の関心を呼びました。そんな中、秋田県内で市民風車の実現を夢見た市民グループの要請によって、北海道グリーンファンドが天王町にて事業調査を実施したところ、風況や用地の問題、発電した電力の売電など条件が整うことから、天王町での市民浮力発言が事業化することが決定しました。

【あきた市民風車計画概要】

発電所名 あきた市民風力発電所・1号機(仮称)
建設予定地 秋田県南秋田郡天王町字浜山
事業実施者 NPO法人北海道グリーンファンド
及び、秋田県内のNPO法人、市民団体
風車発電機 三枚翼 誘導型発電機
出力1500kw1基(ドイツ製)
風車概要 タワー高 65m、羽の長さ 34m
付帯設備 変電設備、系統連系設備及び配電線など
総事業費 約3億円
補助金 NEDO新エネルギー地域導入活動等支援事業費補助金(補助率1/2)
電力売電契約 一般高圧連系(買取り単価11.5円/kwh)で17年間の受給契約を予定
スケジュール
(予定)
2002年10月 工事着工
2003年2月 完成
2003年3月 運転開始
秋田市民風力発電については
<http://www.infosnow.ne.jp/h-green/>

会員活動案内

森の案内人 石沢小学校

森の達人と森を歩こう

秋田県 森の案内人



私たち「森の案内人」は、森林・林業や自然観察について熟知し、秋田県から資格認定を受けたその道のエキスパートです。いま、57人の「森の案内人」が、『秋田県森の案内人協議会』をつくり、秋田県内に7つの地域会を置いて、組織的にボランティア活動をしております。

森林の成り立ちや、林業の知識が豊富な人がいます。

動植物や小鳥の名前と生態に詳しい人もいます。自然観察や木工創作を得意技とする人もいます。山歩きや山菜・キノコの専門家もいます。

森や林の案内ならどんな要望にも応えられると自負していて、皆さんと一緒に森林の役割を考え、山歩きの楽しさと、自然の恵みを満喫してきました。

ところが、私たちが深い関わりをもってきた身近な森林（里山林）が、いま人手不足で荒れてきております。私たちは、この里山の手入れにもお

手伝いしたいと考えております。

私たちは、一般の人々に、森林の役割や、身近な里山林との関わりを考えていただくため、これからも力を注いで行くつもりです。

Q. 「森の案内人」て、なんですか？

A. 皆さんが、森林や自然関係のことについて学ぼうとするとときに活動の手助けをするために秋田県が認定したその道のエキスパートです。

得意技... 森林の働き・森林動植物・自然観察・登山・キャンプ・山菜・ネイチャーゲーム・炭焼き・木工クラフト・林業・etc

皆さんの活動目標に合わせて、その分野の得意な「森の案内人」を派遣します。

Q. 利用方法は？

A. たとえば、学校・親子グループ・職場・地域会・サークルなどの単位で、アウトドアの一環としてご利用下さい。

Q. 有料ですか？

A. 「森の案内人」は、ボランティアですので無料です。でも、材料費や宿泊費などがかかるときは実費をお願いします。

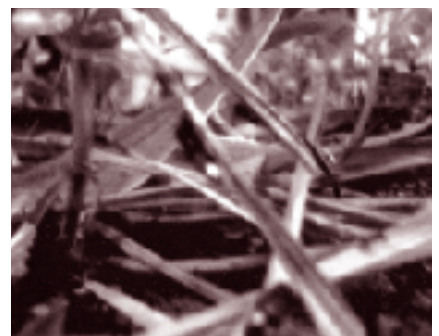
Q. 決まったイベントはありますか？

A. 年に何回か、協議会が主催してイベントを行っています。そのときは連絡をさしあげることができます。

秋田県森の案内人協議会 事務局
〒010-1412 秋田市御所野下堤1-12-12
佐藤方
TEL.018-826-1860 (FAX共)
E-mail:syr-65@cna.ne.jp

たくさんのホタルの光を見てみたい

本荘市立石沢小学校



「たくさんのホタルの光を見てみたい」という夢からスタート

本荘市立石沢小学校では、秋田県のふるさと子どもドリーム支援事業に伴い、「たくさんのホタルの光を見てみたい」という夢からこの取り組みをスタートさせました。しかし、調べていくと石沢では数年前までホタルが多く生息していたことが確認されました。ここ数年はめっきり数が減少しているということも。そこで自分たちの力で石沢の地にホタルを取り戻そうと立ち上がったのです。

主な活動内容

1. 校地内に造った「ホタル観察苑「せせらぎ」」での飼育観察を行う。

「ホタル観察苑「せせらぎ」」の環境保全、環境整備、「ホタルの夕べ2002」の際にはホタルのお宿移しを行い、野外での飼育を継続します。

2. ホタル生態槽でのホタル飼育を継続する。
ホタル生態槽を観察し、観察日記をつけます。

定期的に水の取り替えや水質調査も実施し、ホタルの幼虫が成虫になる過程の観察、生態槽の中での世代交代を行います。

3. 「ホタルの里「櫛引」」のホタル復活の取り組みとして環境作りを行う。

「ホタルの里「櫛引」」の川の清掃を定期的に行うとともに、川の様子を調べます。カワニナ、ホタルの幼虫を探します。

4. 「ホタルの夕べ2002」を実施し、ホタルとのふれあいを楽しむ。

「ホタルの夕べ2002」実行委員会を結成し、石沢地内にて実施します。ホタルのお宿移しを行う他、夕暮れを待ちながら「ホタルの夕べ」にふさわしいコーナーを設けます。地域の諸団体に協力を呼びかけ、地域と一体となった活動として盛り上げます。

5. 石沢地区のホタル調査を行い、「平成14年度版ホタルマップ」を作成する。

各町内のホタル生息調査を継続します。水質検査を実施し、ホタルが生息できるかどうか継続研究し

ていきます。

6. 地区全体のホタル復活・環境保全のための学校版環境SOに取り組む。

川を汚さないように、炭づくり、廃油石鹸づくり、アクリルたわしづくりなどの「環境にやさしいものづくり」を体験します。地区全体の「水環境を守る活動」の展開や、「自然を守る活動」として学校版環境SO活動をします。また環境保全活動として、全町クリーンアップ作戦を行います。

INFORMATION

「第48回県の記念日」特別表彰受賞

井川町横岡町内会 (会長 小林純一さん)



8月29日(木)県庁で行われた「第48回県の記念日」式典で、同町内会が特別表彰を受賞しました。この表彰は「自発的な活動により個性的で魅力ある社会づくりに貢献した団体」を表彰するもので、同町内会の長年にわたる地域ぐるみの環境保全活動が高い評価を受けました。例えば、

- ・毎月第3日曜日を奉仕作業の日と決め、道路沿いの清掃や除草活動を実施
 - ・ごみの減量化や環境学習の自主開催
 - ・沈殿槽(生活排水処理)を全戸設置。
 - ・地元小学校に講師として住民が出向き環境学習に参画
 - ・使用済みてんぷら油を回収し、軽油代替燃料としての活用を目指す。
- などの環境保全活動に、大人から子どもまで全戸(51戸)が参加し、積極的に取り組み続けています。



あなたも・ちょっと・ボランティア!参加者募集

秋空の下、自然豊かな大館市民の森で、クリーンアップ・オリエンテーリングと「とんぼのピオトープ」の見学会を行います。お気軽にお申し込みください。

日時 9月16日(月)午前10時~11時半

場所 大館市民の森(9:45同駐車場集合)

募集人数 50人(先着順)

募集締切 9月10日(火)

申込先 秋田県ふるさと美化推進チーム TEL.018-860-1571 FAX.018-860-1574 E-mail bika@pref.akita.jp

森と木と住宅

あきたふれあいフェア2002開催

森林や林業・木材産業及び住宅関連産業について広くPRします。

プレゼントコーナーや木工教室などの楽しい内容で、皆様の来場をお待ちしております。

【日時】平成14年10月5日(土)午前11時~午後4時

平成14年10月6日(日)午前10時~午後4時

【場所】秋田駅前 アゴラ広場

【内容(予定)】

無料木工教室(ベン立て、ラック、巣箱などの制作) 制作体験(あじろ編み、組子細工など) 間伐材を活用した製品の展示・販売 秋田スギを活用した住宅製品の展示 住宅に関する相談会 木工品、林産物等の販売他

【問い合わせ】県秋田スギ振興課 018-860-1914

(財)秋田県建築住宅センター 018-836-7850

「環鳥海・未来の森林(もり)フォーラムpart1」開催

日時 平成14年9月7日(土) 午前12時30分~
場所 本荘由利産学共同研究センター 2階・AV研修室
(本荘市川口字大覚182県立大学本荘キャンパス隣接)
【プログラム】

・オリエンテーション/12:30~12:40

・プレゼンテーション/12:40~13:00

(清水の里六郷町の取組み)

・講話(1) 講話(2) 3:00~15:30

・ワークショップ/15:45~17:15

・閉会/17:15~17:30 ・夜学/18:00~20:00

(夜学に御出席いただける方には、参加費3,500円を当日申し受けます。)

お問い合わせ

「木を植える人びとの会」事務局 作佐部直

TEL 0184-33-2226

秋田県由利総合農林事務所林務課 佐藤尚志

TEL 0184-22-2126

ご寄付報告

フォーラム会員(本人のご希望により匿名)から当フォーラムに、8,563円のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

秋田の環境を守るために役立てて欲しいとの願いから、平成元年より貯めてきたお釣りの一円玉を寄付したいとお申し出があり、ありがたく頂戴しました。

寄附金は環境あきた県民フォーラムの活動費に充当さ

せていただきます。

「環境大賞」受賞者決定

特に優れた環境保全活動を展開している団体や個人を表彰する今年の「環境大賞」の受賞者が決まりました。

受賞者の方々は次のとおりです。活動事例は次号以降御紹介致します。

八竜町立八竜中学校(釜谷海水浴場の清掃活動)

(財)東北電気保安協会秋田事業本部(電気安全と科学ミニ実験教室)

TDK秋田コンポーネッツ(「ひまわりの会」による活動)

秋田市民消費生活協同組合(秋田市民生協の環境保全活動)

伊徳SO推進委員会(いとくエコキャンペーン)

表彰式は「あきたエコ&リサイクルフェスティバル開会式」にて行われます。

新規入会者のご紹介 ~よろしくお願ひします~

秋田中央地区の環境を考える協議会 横手市環境美化推進員連絡協議会 個人2名

【フォーラム会員数】企業・団体(86) 個人(211)

発行 環境あきた県民フォーラム事務局

〒010-8570 秋田市山王4-1-1秋田県環境政策課内

TEL018-860-1602 FAX018-860-3881

e-メール envplan@pref.akita.jp

募集

フォーラム事務局からのお願い

このニュースレターは、今後も内容の充実を図っていきます。例えば次のような読者の皆様身近にある環境にやさしい情報をシリーズ化して掲載していきたいと考えております。 街の身近な修理屋さん 街の美化グループ等...ぜひ事務局まで情報をお寄せくださいますようお願いいたします。